

本年当初、各町会の協力を得て実施した「町会のお宝・自慢調査」の結果がまとまりました。その主なところを、今号から地区別に、シリーズでご紹介します。

なお、ここで紹介できなかった調査結果は、追ってホームページなどで公開する予定です。

佐野地区① 佐野地区は、佐野駅周辺の25町会からなります。

久保町 《レンガ造りのガードとトンネル》

所在地：久保町59番地先

久保町を囲むように走る東武佐野線はJR両毛線を越えるため、陸橋が6つあります。大正3年に館林～葛生間の直通運転が開始されるのにもとない造られた、レンガ造りの趣のあるデザインの高架橋に大正ロマンを感じることができます。特に、観音山をカーブするところの高架上を走る電車の景観が美しいですが、観覧する際は路上になりますので、車両にご注意ください。

久保町ではほかに、玩具羽子板、西宮神社大祭、赤松、竜吐水と銅造半鐘などがありました。



相生町 《木製模型作家 針谷昌吉氏》

所在地：相生町188番地

大正11年生まれ。木工職人の父の影響で幼いころより木に親しみ、同じ道に。横須賀海軍工作学校で腕を磨き、戦後は長く木工職人として活躍されました。引退後、独学で精巧な模型作りを始め、五重塔などの作品は、病院・寺院・公共機関に飾られています。これまでに製作された五重塔、城、神輿などの作品はどの模型も本物を縮小したような精巧な仕上がりです。個人のお宅ですが、ガラス戸越しに作品を見ることは随時可能です。家人がいらっしゃれば、作品をじかに見せていただけます。

相生町ではほかに、おしどり塚、伊勢山神社、大雲寺などがありました。



高砂町 《佐野町道路元標》

所在地：高砂町地内(高砂町交差点北西角)

大正11年内務省令に基づき、道路の基点を示すために設置されたもので、旧佐野市域の旧町村にも置かれていましたが、現存するのはここだけで、歴史的に貴重な資料です。

佐野駅南土地区画整理事業の際にポケットパークとして整備されており、ウォーキングの際などにも立ち寄っていただけます。

高砂町ではほかに、荒澤不動尊がありました。



万町 《地久(ちきゅう)稲荷神社》

所在地：万町90番地

文化3年(1806)に作られ、日光例幣使街道絵図に記載されている稲荷様と思われます。天長地久を乞い願う守護神として地久稲荷と命名されました。3月19日に例祭、7月15日には子どもが神輿を担いで練り歩く夏の祭りが開催されます。特に花柳界の信仰が深く、縁結びや子どもたちの健やかな成長を温かく見守る子育て稲荷として知られています。周囲には賑やかな往時を偲ぶように「江戸街道」「殿町通り」「芸者横町」などの地名が残っています。

万町ではほかに、パン販売店、菓子店、おもちゃ屋、肉屋、ラーメン屋などがありました。



お知らせ

農家のみなさんへ「戸別所得補償モデル対策受付中」
国の新たな対策として、①米戸別所得補償モデル事業、②水田利活用自給力向上事業の加入申請受付が始まっています。▶申込期限 6月30日(水)まで ■農政課 ☎(61)1162、栃木農政事務所地域第一課 ☎0282(22)4141

田沼地区① 田沼地区は、田沼駅周辺の9町会からなります。

下 町 《大宮大黒天》

所在地：田沼町499番地

境内の中に鳥居と本殿があり、本殿の中には、小田原の大雄山最乗寺（道了尊）より分祀したと思われる天狗のうちわが祀られているほか、織姫神社と三峰神社が祀られています。大黒天の碑（元治元年(1864)建立）や支那事変記念碑（昭和17年5月建立。支那事変は日中戦争のこと）、大正5年5月に奉納されたものと思われる二つの灯籠などもあるように、1カ所で、いくつもの珍しいご神体や歴史の記念碑などを見ることができます。また10月の第4土曜日に祭典を行っています。



角 町 《西林寺の地獄極楽絵》

所在地：田沼町1408番地

毎年、お盆中に本堂に掲げている「地獄絵」と「極楽絵」2組の絵巻物です。絵自体のいわれは貴重な物とは伝えられていませんが、代々、檀家の子どもたちに、常日ごろから良い行いを心がけるようにと視覚を通じ心に印象を深め、伝え、教えるこのような習慣が現在まで継続している事は珍しいのではないかと思います。現在では子どもたちを含め、家族そろってお墓参りする習慣さえ年々薄れていますが、本寺では家族そろってお墓参りにくる檀家様が多く、誇りに思っているそうです。

角町ではほかに、秋葉様、洋品店、旅芸稲荷などがありました。



仲 町 《一瓶塚稲荷神社》

所在地：田沼町1404番地

長い年月佐野荘の総社であったといわれる歴史ある神社で、昔から衣食住の神として信仰されてきました。栃木県指定文化財の本殿・幣殿・拝殿など、歴史的・文化的価値が高く評価されています。特に大鳥居は、延享3年(1746)に天明鋳物で作られた旧田沼町域で唯一の銅製鳥居で、昭和20年8月4日に重要美術品として国の指定を受けたように、美術的価値も高く評価されています。また、江戸時代初期から続く伝統行事「初午大祭」も、稲荷神社周辺の道路を歩行者天国にして3月初旬ごろ盛大に行われています。

仲町ではほかに、日限地藏尊がありました。



田沼本町 《愛宕山公園と愛宕神社》

所在地：田沼町1713番地 1

7万5,800㎡の広大な敷地と、赤松などの既存樹林が多く生かされ、森林浴が楽しめる散策道、市街地が眺望できる展望台などがあります。四季折々の自然を感じながらのウォーキングもおすすめです。また、山頂には愛宕山神社があり、例年7月に祭りが行われ、町会長がご神体を抱えて参道をのぼる勇壮な儀式があります。

田沼本町ではほかに、木造地藏菩薩像、戸隠神社などがありました。



▶ お問い合わせは、観光立市推進室 ☎(61)1190